

生徒の皆さん  
保護者の皆様

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校  
校長 永瀬 哲

## 新型コロナウイルス感染症への対策について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の国内での発生が拡大していることを受け、横浜市では次の期間、学校を休業することとなりました。保護者のみなさまの、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、休業期間中は、次のことにご配慮をお願いいたします。

**1 休業期間** 令和2年4月8日（水）～令和2年5月6日（水）

### 2 予防と感染拡大防止

- (1) 不要不急の外出を避けてください。外出する場合は、マスクの着用、手洗い・うがいを徹底し、感染拡大予防をしてください。
- (2) 普段から、せっけんを用いた正しい手洗い、うがいを行い、せきがでる場合はマスクを着用するなどの「せきエチケット」をお願いいたします。
- (3) 免疫力を高めるためにも早寝、早起き、バランスのよい食事など規則正しい生活を心がけてください。
- (4) 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続くときは、帰国者・接触者相談センターに電話をし、勧められた医療機関を受診してください。受診の際は、医療機関にあらかじめ電話をし、症状等を伝えてから受診することをお勧めします。何も連絡せずに受付をし、待合室で他の患者の方と一緒に待つことがないようにしてください。
- (5) 児童生徒等が新型コロナウイルス感染症にかかった場合または疑いがあり検査を受けた場合だけでなく、発熱や風邪症状で受診した場合も、保護者から学校に報告してください。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策用の健康観察票を生徒に配付しましたので、活用していただき、健康観察に努めてください。
- (7) 学校では、新型コロナウイルス感染症にかかった生徒やご家族、治療にあっている病院やその関係者の方々への配慮につきましても、生徒に指導してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- (8) 休業の理由や外で遊んではいけない理由等をご家庭でもお子様に説明し、家の中で過ごすようにしてください。

### 新型コロナウイルス感染症が心配なとき

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続くとき  
(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。)  
(糖尿病、心不全、呼吸器疾患等がある方や透析を受けている方は2日程度)  
・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)があるとき

症状がある時の対応  
病気の特徴や  
予防方法など  
相談全般

渡航歴などにかかわらず  
誰でも相談  
できます。

帰国者・接触者相談センター  
045-664-7761  
9:00-21:00

横浜市新型コロナウイルス感染症  
コールセンター  
045-550-5530  
9:00-21:00

お問合せ先 横浜サイエンスフロンティア高等学校  
副校長 星野・富樫 (電話 045-511-3654)